

平成 23 年 6 月 15 日

報道関係者各位

公益社団法人日本化学会
国立大学法人東京工業大学

日本・ドイツ化学シンポジウム

-日本化学会とドイツ化学会(GDCh)による共同開催-

日本化学会（岩澤康裕会長）とドイツ化学会（GDCh、Michael Droscher 会長）は 6 月 20 日(月)、東京工業大学大岡山キャンパスくらまえホールで、「日本・ドイツ化学シンポジウム」を共同開催致します。

「日本・ドイツ化学シンポジウム」は 2011 年が世界化学年であり、さらに日本とドイツが修好・通商・航海条約を結び、日独交流 150 周年に当たることを記念して企画されたもので、ノーベル化学賞受賞 10 周年を迎える野依良治理化学研究所理事長、B. Sharpless 米国スクリプス研究所教授、2010 年受賞の鈴木章北海道大学名誉教授ら世界の著名研究者 10 名が特別講演を行う予定です。（プログラムは多少の変更の可能性があります。）

また 2011 年はドイツ化学会誌 *Angewandte Chemie International Edition* 創刊 50 年、東京工業大学創立 130 周年に当たり、ドイツ連邦政府および関係機関(ドイツ研究振興協会、ドイツ科学・イノベーションフォーラム東京)、WILEY-VCH、東京工業大学(伊賀健一学長)も協力しています。

記

1. テーマ：「Germany – Japan Chemistry Symposium
Catalysis & Synthesis, Advanced Materials & Chemical Biology」
2. 2011 年 6 月 20 日(月) 午前 9 時から午後 6 時
3. 東京工業大学大岡山キャンパスくらまえホール（東京都目黒区大岡山目黒区大岡山 2 丁目 12-1）
4. 参加費 無料（定員 400 名。すでに定員に達したため受付を締め切りました。Virtual Online Event として後日 Web 上で視聴が可能です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。）
<<http://www.csj.jp/news/nichidoku2011-online.html>>
5. 講演者(講演順)
 - ・野依良治 理化学研究所理事長 2001 年ノーベル化学賞
 - ・Alois Fürstner マックスプランク研究所教授
 - ・細野秀雄 東京工業大学教授
 - ・Hartmut Michel マックスプランク研究所教授 1988 年ノーベル化学賞
 - ・藤田照典 三井化学 取締役・研究本部長
 - ・鈴木章 北海道大学名誉教授 2010 年ノーベル化学賞
 - ・François Diederich スイス連邦工科大学 チューリッヒ校教授
 - ・福山透 東京大学教授
 - ・Helmut Schwarz ベルリン工科大学教授
 - ・Barry Sharpless 米国スクリプス研究所教授 2001 年ノーベル化学賞
6. 主催 日本化学会 ドイツ化学会
共催 東京工業大学

本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人日本化学会企画部日独シンポジウム係（井樋田、林）
Tel 03-3292-6163、E-mail gjsympo@chemistry.or.jp